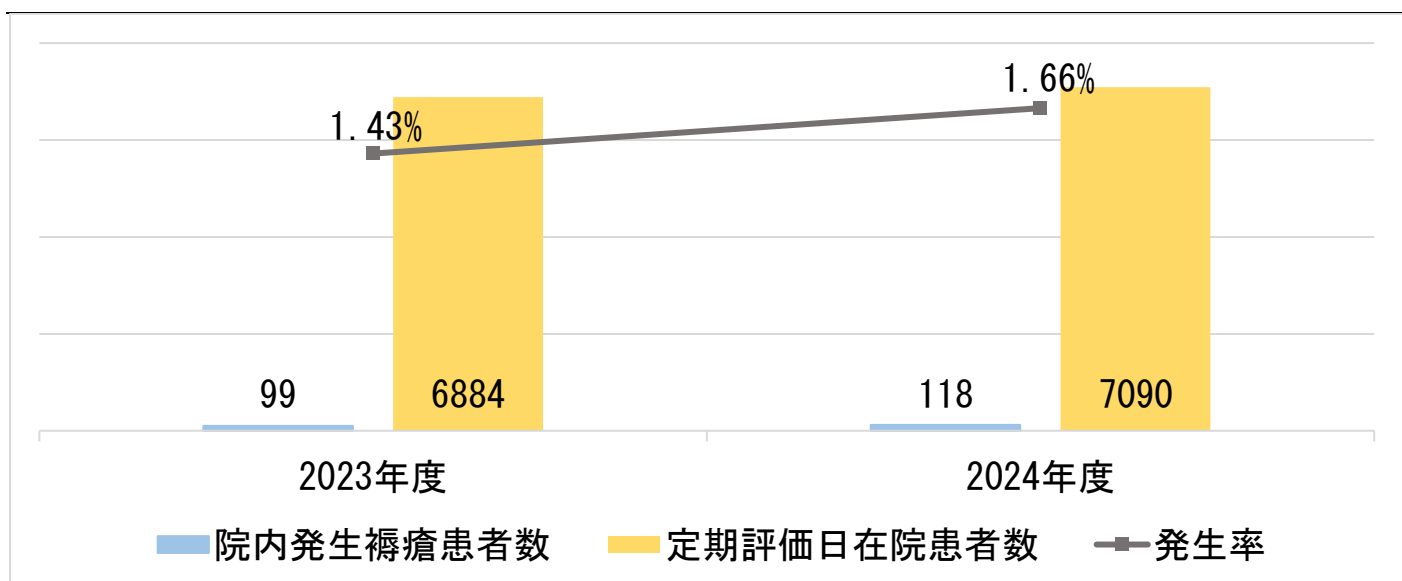


褥瘡推定発生率



■定義

$$\frac{\text{院内発生褥瘡患者数}}{\text{定期評価日在院患者数}} \times 100 = \text{褥瘡推定発生率}$$

■指標の解説

褥瘡は患者さんの QOL（生活の質）の低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど治癒が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化につながります。医療の質の観点からも褥瘡予防は重要な指標となります。

■改善活動

Plan

年間褥瘡推定発生率 1.5%以下を維持する
発見時 D3 以上の褥瘡が 10 件以下となる

(活動計画)

- ・ 褥瘡検討会・褥瘡回診：毎週
- ・ 褥瘡対策セミナー（e ラーニング）：1 回／年
- ・ 褥瘡対策 NEWS 発行：2 回／年
- ・ 褥瘡対策マニュアル改訂：必要時

2025 年度の計画：褥瘡専任看護師を中心にオムツの使用方法やオムツ使用中のスキンケア方法について、勉強会を開催しスキルアップを図る。足のケアに関するスキルアップセミナーを開催し啓蒙を図る。

Action

Do

褥瘡対策チーム、褥瘡専任看護師による褥瘡回診を毎週実施している。

褥瘡 NEWS は 5 月に発行し、昨年度の取組み成果と「エアマットレス ネクサス iB」の機能説明を掲載し、効果的な活用を推奨した。

医療関連機器褥瘡が多い機器について、9 月にマニュアル追加。

(上半期)

褥瘡対策チーム、各部署の褥瘡専任看護師が連携し、褥瘡予防に積極的に介入している。

昨年度より発生率が高いため、褥瘡予防におけるスキンケアとポジショニングについての意識を高めていく。

(年度末)

D3 褥瘡発生はオムツ使用者の仙骨部・尾骨部と寝たきり患者の踵部の発生が多い傾向にあり、発見時 D3 以上の褥瘡は年間 14 件発生した。オムツ使用者のスキンケアや寝たきり患者の下肢の効果的なポジショニング技術の向上が必要である。

Check